



地域に学び、地域と協働し、地域になくてもならない村岡高校

〒667-1311 美方郡香美町村岡区村岡 2931 TEL 0796-94-0201 FAX 0796-94-0203

祝  卒業 村岡高等学校第64期生

答 辞

長く厳しい冬を越え、校舎の周りに残る雪の中にも、少しずつ春の気配を感じられる季節となりました。本日は、私たち六十四期生のために、このような素晴らしい卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。卒業生一同、心より感謝申し上げます。

今日が高校生活最後の日だといわれても、心のどこかで信じ切れていない自分がいます。「卒業式、泣くかな？」そんな会話をした頃は、卒業なんてまだまだ先のことだと思っていました。けれど、いつの間にか「今」になり、私たちは村岡高校を旅立つ日を迎えています。それでもなお実感が湧かないのは、この場所で、この仲間たちと過ごした日々があまりにも自然で、当たり前なものになっていたからでしょう。

その中でも、村高祭は私にとって特別なものでした。村高祭への準備期間は学校全体がいつもより少し騒がしく、どこか浮き立つような明るい空気に包まれていました。寝る時間を惜しんで作成した演劇の台本、関係のない話で盛り上がりなかなか進まなかったデコレーション。三年生の夏、演劇やデコレーションに込めた思いは今までよりも確実に強いものでした。一つの目標に向かって全員で夢中になり、本気で向き合った時間の先には、最優秀賞と優秀賞という素晴らしい結果が待っていました。私たちにとって本気で向き合った日々は、これから先も支えとなる大切な宝物です。

しかし、私たちの高校生活は決して楽しいことばかりではありませんでした。意見が合わず、ぶつかり合う人間関係。着々と迫ってくる「進路」という大きな壁。様々な経験をし、悩む日々も多くありました。それでも今、私たちの未来が少しずつ形になっているのは、多くの先生が存在があったからです。(中略)

在校生の皆さん、毎日は同じように見えて、一つとして同じ日はありません。青春は図り知れないほどの価値を持ちながら、驚くほどに一瞬で過ぎていくものです。また、楽しいことばかりではありません。立ち直れないくらい苦しい日も、言葉にできないほどうれしい日も、何気ない瞬間も、あとで振り返れば全部が「意味のある日」に変わります。それは決して一人の力ではなく、周りにいる友達、先生方、家族のみんなの力があってこそです。どうか、自分と仲間を大切にしてください。

そして、私たちが一番感謝しなければならないのは、家族です。どんな言葉を送っても伝えきれないほどの感謝の気持ちで溢れています。毎日、当たり前のように食べていたお弁当。将来について真剣に話し合ってくれたこと。好きなことをしたらいいと言いつつも、本当は誰よりも心配してくれていること。うまくいかないことがあって八つ当たりしてしまったときにすべてを受け止めてくれたこと。涙を流した時、何を言うでもなく、ただそばにいてくれたこと。お父さんとお母さんの子供でよかった。笑い声が絶えないこの家族の一員でよかった。毎日が幸せです。いつか必ず夢をかなえて、恩返してできるよう日々努力していくので、変わらず温かく見守っていてください。

私たちの青春がもう少しで終わろうとしています。毎日同じ時間に起きて、同じ道を通って制服を着て登校し、教室に行けば笑顔で挨拶をくれる友達がいて、時には遅刻してくる友達もいて、眠い目をこすりながら受けた授業。授業中に突然当てられて焦り、それを見て笑う友達がいて、誰かの一言で笑いに包まれた瞬間。テストの点数で落ち込み、必死になって勉強した時間。恋の相談で終わった十分休憩。チャイムと同時に購買に向かって走った昼休み。放課後、「疲れたね」といい合いながら何をすることもなくそばにいて、ただ同じ時間を共有できたこと。悩んだときはそっと寄り添い、一緒になって涙を流してくれる友達がいたこと。それだけ

で救われた日々があったこと。当たり前のように楽しくて、充実しすぎている毎日に不安になるほど幸せでした。週に五回、大好きな人たちに会うことができるこの場所が大好きでした。これから先何十年たっても、六十四期生のみんと過ごした青春を忘れることはありません。みんなに出逢えてよかった。それぞれの道を歩んだ先で、また笑顔で再会できる日が来ることを願っています。

「置かれた場所で咲きなさい」私が最も心に刺さった好きな言葉です。これから先、自分の選んだ道に迷いを感じる時が出てくるでしょう。しかしそれは、単なる迷いであり、決して間違った道ではありません。自分自身の選んだ道に全力でできることを見つけ、その中で華麗に咲いてください。置かれた場所で咲き誇ってください。そうすれば、明日はきっといい日になるから。

これまで関わってくださったすべての方々への感謝の思いを胸に、六十四期生の未来と、村岡高校のさらなる発展をお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

令和八年二月二十七日

卒業生代表 中島 未侑華



入 場



クラス代表に卒業証書授与



あららぎ賞受賞者発表(7名)



卒業記念品贈呈



送 辞



答 辞



退 場

第64期卒業生が、学び舎を巣立っていきました。村高での3年間を基に自ら考え選択し、自分の力で切り拓く自律した人となってくれることを願っています。また、皆さんの人生が心豊かで、幸多いものとなることを心より祈念します。

ご多用の中、9名のご来賓の方々のご臨席を賜り、式に花を添えてくださいました。ありがとうございました。保護者の皆さま、地域の皆さまにはこれまで多大なご支援をいただき、晴れの日を迎えられましたことに、心より厚くお礼申し上げます。

< 3月の予定 >

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 9日(月) 総合的な探究の時間発表会、学校評議員会 | 11日(水) ~ 13日(金) 生徒休業日 |
| 12日(木) 第5学区複数志願選抜学力検査(生徒休業) | 14日(土) 15日(日) 氷ノ山アルペン(スキー) |
| 16日(月) 1、2年スタディサポート、学年委員会、地探I | 20日(金) 合同芸術祭・湯舟川コンサート |
| 23日(月) 終業式 教科書購入 合格者説明会 | 23日(月) ~ 27日(金) 兵庫県新人スキー大会 |
| 26日(木) 春季但丹地区大会開幕(野球) | |